

都市再生整備計画

かわにしまちこまつちゅうしんしが いちさいせいちく
川西町小松中心市街地再生地区

第1回変更

やまがたけんひがしおきたまぐんかわにしまち
山形県東置賜郡川西町

令和7年10月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	山形県	市町村名	カワシマチ 川西町	地区名	川西町小松中心市街地再生地区	面積	2.4 ha
計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 8 年度	交付期間	令和 6 年度 ~ 令和 8 年度				

目標
 大目標: 中心市街地のプラットフォーム「集い、交流、にぎわいの場の創出」の実現
 目標1: 活力ある地域づくり
 目標2: 交流・憩いの空間づくり
 目標3: まちなかのにぎわいづくり

目標設定の根拠
 都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
 市街地の中心部に立地している旧役場庁舎及び中央公民館が老朽化し「震度6で崩壊、倒壊の危険性が高い。」との耐震診断結果を踏まえ、役場庁舎の移転計画を進め、令和3年5月に新庁舎が完成、移転した。
 本町の中心市街地は古いまちなみなど歴史的資源が多く、平成27年5月に策定した「川西町中心市街地活性化基本計画アクションプラン」等に基づき活性化に取り組んできたが、人口減少に伴い、世帯数・事業数・従業員数とも減少傾向にあり、役場庁舎の移転も相まって、中心市街地の空洞化や商店街の活力の低下が顕著となっている。
 地域活動など、町民が集い、交流する中心的な役割を担ってきた中央公民館は、旧川西町役場等跡地を活用して、地域コミュニティを活性化するための活動の場、多様な交流、憩い、集えるゆとりの場、まちなかのにぎわいづくりの新たな拠点として整備を図るとともに、羽前小松駅の東西地区のアクセス等を強化し、既成中心市街地への人流を呼び起こし活力の向上を図る。
 併せて、老朽化した公共施設は中心市街地内部での更新を行い、都市機能の拡散防止と中心市街地の公共・公益サービス機能の維持を図り、人流とにぎわいづくりに資する。

まちづくりの経緯及び現況
 本町は、川西町総合計画に基づき、川西町中心市街地活性化基本計画アクションプランを平成27年に策定し、小松地区一帯の中心市街地機能の拡充、郊外への拡散の防止、公共交通の利用促進に取り組んでいる。
 人口減少に伴う公共交通利用者の減少や商店街の空洞化が懸念される一方で、東北中央自動車道に連結し、国道287号米沢長井道路整備と合わせ、置賜生活圏30分圏構想の実現に資する新潟山形南部連絡道路(梨郷道路)が令和5年に整備される見通しである。また、本町の地方創生総合戦略に掲げるリーディングプロジェクトで救命救急センターを併設する公立置賜総合病院を核とする「メディカルタウン整備」の実現により、羽前小松駅周辺地区と置賜総合病院周辺地区の2つの拠点形成に取り組んでいる。

課題
 ・役場庁舎の移転跡地において、誰もが気軽に利用でき、既成市街地の人流拡大に資する地域振興拠点の整備が求められている。
 ・人口の定着、交流人口の増大を図っていくために、既成市街地での都市基盤等による市街地環境のさらなる向上が必要である。
 ・置賜地域の中心に位置し、交通の要衝となっている位置的特性や、地域の文化、歴史、自然などの地域資源、豊かな営農環境を活かした産業の育成、振興が必要である。
 ・中心市街地の幹線道路は、バリアフリー化や雪道対策を拡充し、安心して歩ける歩行者空間の確保が望まれている。

将来ビジョン(中長期)
 【かわにし未来ビジョン(第5次川西町総合計画)】
 ・本地区中心とする中心市街地は、「時代のニーズに応じた居住環境を整備し、人口と都市機能の集積を図り、にぎわいと活力のある市街地づくり」を目指し、魅力にあふれ、にぎわいを生み出す都市機能づくりを推進している。

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

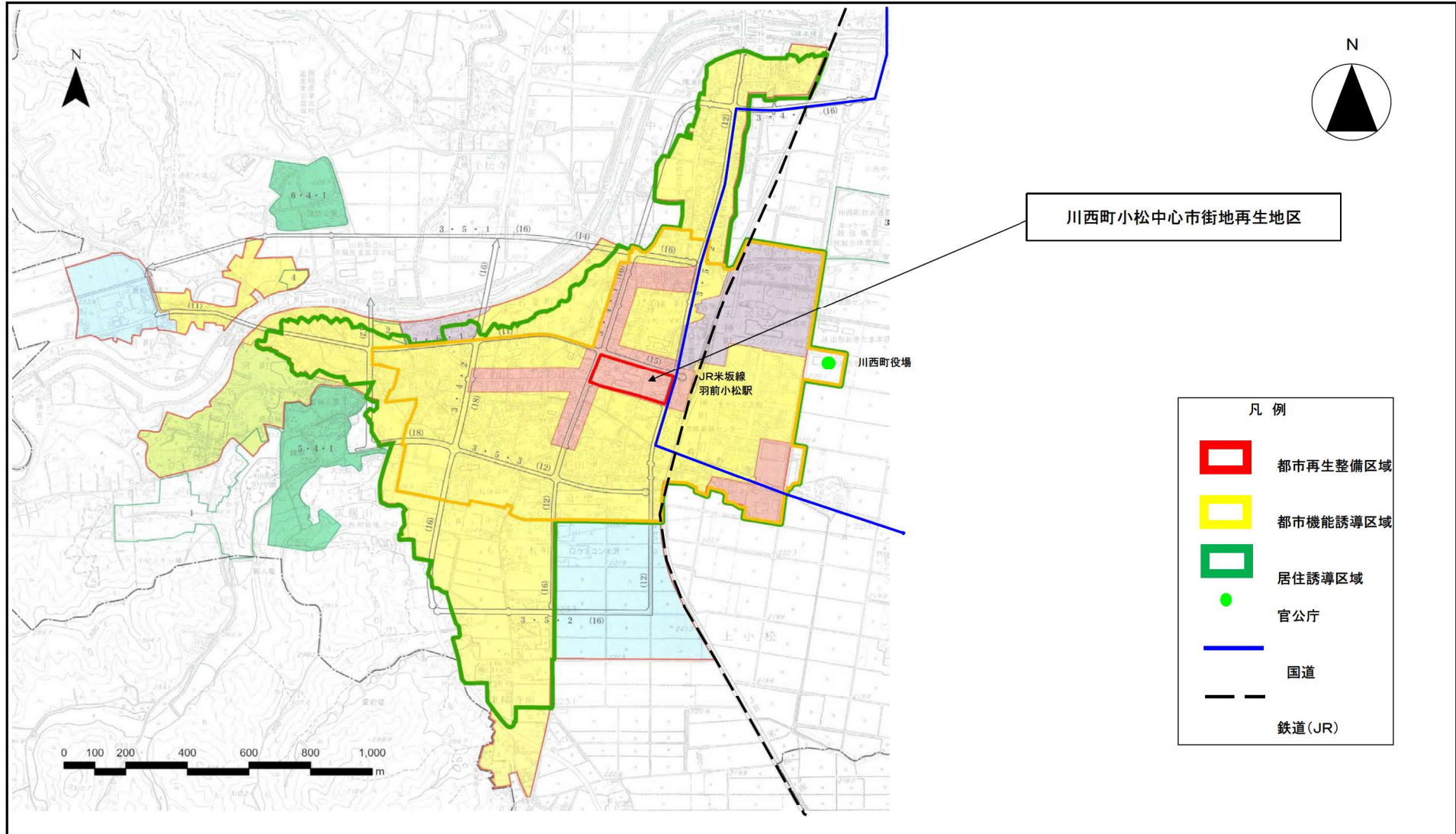
都市機能配置の考え方
 本町は山形県南部置賜地方(3市5町)の地理的中心に位置し、町の中心部である小松地区(旧小松町)に公共施設及び商業、医療、金融施設等の都市機能が集積し、その周辺に6地区(旧村)が隣接する形で町を形成している。中心地区の主要幹線道路である国道287号と地域住民の重要な移動手段として利用されているJR米坂線が結節する中心市街地は、商業と行政の中心であり、就学・就業及び経済の場を担っている地区である。中心部には、2つの商店街や役場、公立診療所、複合文化施設、JR羽前小松駅、県立高等学校などの公共施設が立地しており、これらの既存ストックを有効に活用し中心市街地の活性化を推進していくとともに、歴史や文化的な地域資源を活かしたまちづくりを展開し、周辺地区を公共交通で結んだ機能的で住みやすいコンパクトなまちづくりを目指していく。
 中心市街地のにぎわいづくりの核となる「地域振興拠点施設」は、町内幹線道路からのアクセスも容易で交通利便性に優れているJR米坂線の羽前小松駅周辺地域に配置する。また、本町の都市計画区域北部に立地する置賜地方の拠点病院であり救命救急センターを併設する基幹病院と機能分担を図る公立置賜川西診療所は、地域の民間診療機関や介護施設と連携し地域包括ケアシステムを推進するため、必要となる機能を拡充整備し中心部に配置する。
 都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地域振興拠点施設利用者数	人	地域振興拠点施設利用者数	地域コミュニティを活性化するための活動の場、多様な交流、憩い、集えるゆとりの場、まちなかのにぎわいづくりの拠点等としての活用状況	11,291	R3	16,800	R8
川西町小松中心市街地再生地区の満足度	%	川西町小松中心市街地再生地区の満足度	川西町小松地区中心市街地再生地区の住民に対するアンケート調査 (従前値は、令和4年度川西町中心市街地活性化基本計画調査業務で実施したアンケート調査(小松地区の満足度: 学校や集会所等の公共施設の便利さ…91.5%)より設定)	51.5	R4	55	R8

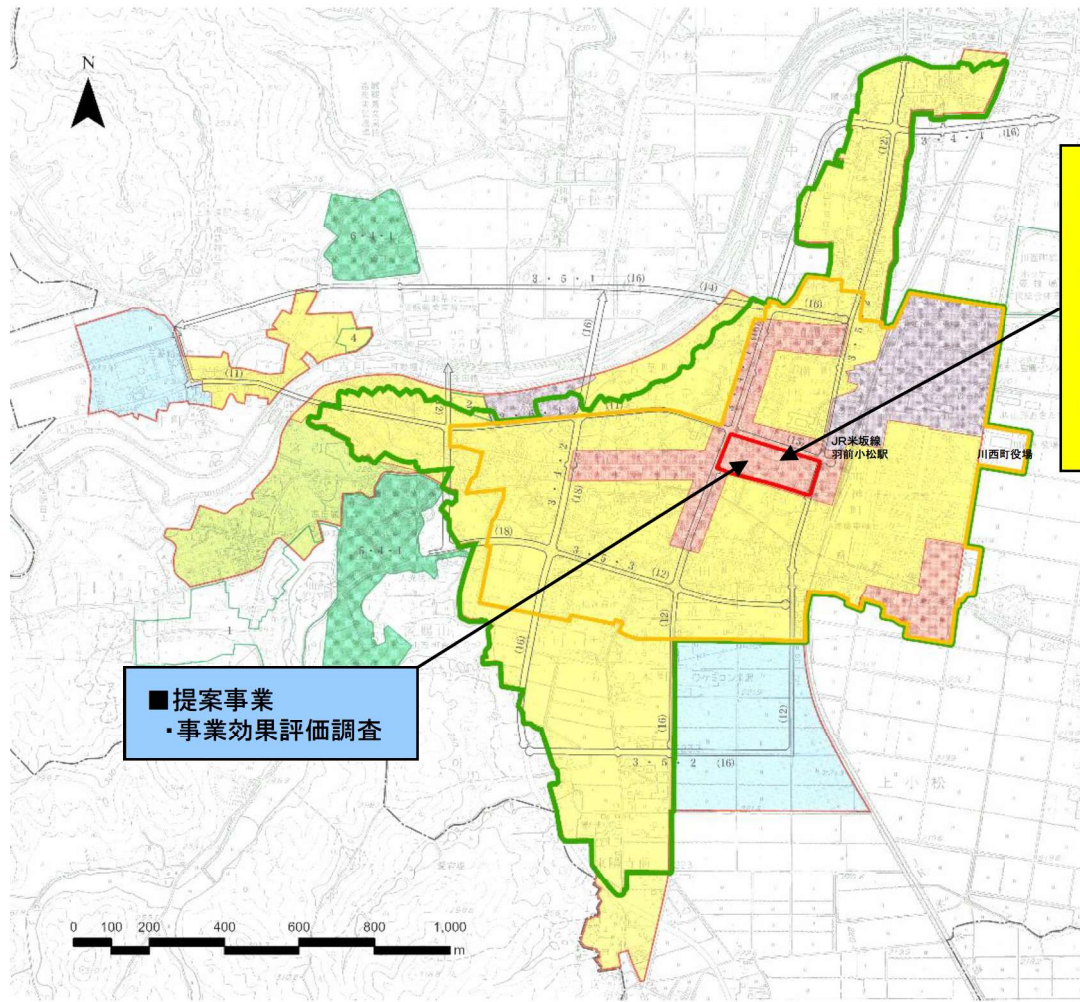
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【活力ある地域づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小松地区の地域コミュニティを活性化する活動の場をつくります。 ・教養を高め、豊かなこころを育む場をつくります。 ・多様な情報を集積、発信地としての機能充実に図ります。 ・小松地区の安全、安心の拠点ををつくります。 	<p>【基幹事業】(高次都市施設):川西町地域振興拠点施設(地域づくり機能、生涯学習機能、情報発信機能)、観光交流センター (地域生活基盤施設):川西町地域振興拠点施設(備蓄倉庫)、広場 【基幹事業】(道路):町道庁舎東線</p>
<p>【交流・憩いの空間づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な交流や活動を推進し、であい、ふれあいの場をつくります。 ・誰からも親しまれ、憩い、集えるゆとりの場をつくります。 ・互いに認め、支え合い、つながる場をつくります。 	<p>【基幹事業】(高次都市施設):川西町地域振興拠点施設(交流機能、広場機能、共生社会機能)、観光交流センター (地域生活基盤施設):広場 【基幹事業】(道路):町道庁舎東線</p>
<p>【まちなかのにぎわいづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが利用しやすい、開かれた場をつくります。 ・回遊を促すため、まちなかの拠点ををつくります。 	<p>【基幹事業】(高次都市施設):川西町地域振興拠点施設(多目的機能、共用機能)、観光交流センター (地域生活基盤施設):広場 【基幹事業】(道路):町道庁舎東線</p>
<p>その他</p>	
<p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成16年に「川西町まちづくり基本条例」を制定し、町民と町が互いに協力してまちづくりを行っていく「パートナーシップによる協働」を基本とした「協働のまちづくり」を推進し、地域づくりの取組は各地区交流センターが中心的役割を担い、地区計画に基づき地域課題の解決や地域活性化を図っている。 ・川西町小松中心市街地再生地区内においても、小松地区交流センターが核となり「小松地区まちづくり計画」に基づく地域づくりを推進している。 ・また同地区内では、川西町商工会、羽前小松駅、山形かわにし綾プロジェクト、県立置賜農業高等学校、こまつ市実行委員会など多様なプレーヤーが活動を行っている。 	

川西町小松中心市街地再生地区(山形県東置賜郡川西町)	面積	2.4 ha	区域	川西町大字上小松の一部
----------------------------	----	--------	----	-------------



川西町小松中心市街地再生地区(山形県東置賜郡川西町) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標: 中心市街地のプラットフォーム「集い、交流、にぎわいの場の創出」の實現	代表的な指標	地域振興拠点施設利用者数 (人)	11,291 (令和3年度)	→	16,800 (令和8年度)
	目標1: 活力ある地域づくり		川西町小松中心市街地再生地区の満足度 (%)	51.5% (令和4年度)	→	55.0% (令和8年度)
	目標2: 交流・憩いの空間づくり					
	目標3: まちなかのにぎわいづくり					



- 高次都市施設
 - ・ 地域振興拠点施設整備
 - ・ 観光交流センター
- 地域生活基盤施設 (地域防災施設)
 - ・ 備蓄倉庫整備
- 地域生活基盤施設 (広場)
 - ・ 広場整備
- 道路
 - ・ 町道庁舎東線整備

凡例	
	基幹事業
	提案事業
	都市再生整備計画
	都市機能誘導区域
	居住誘導区域